

府有林を対象にJ-クレジットの取組を開始！

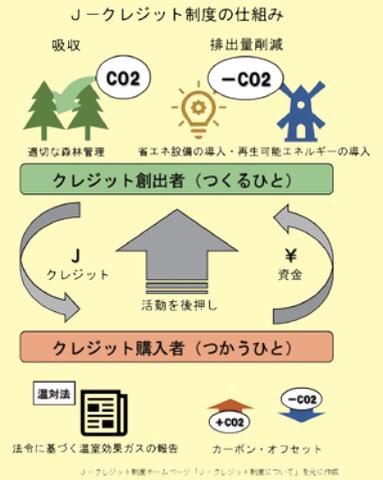
京都府では、適切な森林管理による二酸化炭素の吸収量を国が認証しクレジットとして発行する「J-クレジット制度」に取り組むこととし、令和7年度からのクレジット発行に向け、二酸化炭素吸収量などを記載する計画書の作成や、国への申請などの手続きを進めています。

発行されたクレジットは、府域におけるカーボン・オフセットの取り組みが進むよう、主に温室効果ガスの排出削減を進める府内の企業等へ販売する方針としています。

今後は、脱炭素社会の実現に向け、J-クレジットの取組が府内全体に広がるよう、府有林で得られた知見などを、林業事業体に普及していくこととしています。

J-クレジット制度について

- 適切な森林管理による二酸化炭素吸収量及び省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用による温室効果ガスの排出削減量を「クレジット」として国が認証し発行する制度
- 「クレジット」創出者は発行されたクレジットを温室効果ガス削減を進めている企業等に販売することで、森林整備などを進める資金を得ることが可能
- 「クレジット」購入者は法令に基づく温室効果ガスの報告やカーボン・オフセットなどに活用できるとともに、購入をとおして、森林保全活動や省エネ活動を後押しすることが可能



府有林の取組

【国に申請しているプロジェクト計画書の概要】

- 認証対象期間：令和6年度から令和13年度まで（8年間）
- 対象面積：7,143ha（森林経営計画作成済み）
- CO₂吸収量（見込み）：約13万t-co₂（8年間の総量）
※1年あたり約1万6千t-co₂



適切に管理された府有林

「京都の林業 魅力丸ごと体験」を開催！

京都府では、京都府立林業大学校への就学、京都府内の林業事業体への就業及び定住を一体的に進めるため、「京都の林業 魅力丸ごと体験」を令和6年7月に初めて開催しました。

北は北海道から南は鹿児島県まで参加された計11名には、京都の林業や地域の魅力をたっぷり体験いただきました。参加者からは、「林業大学校への就学を検討したい」等の声が聞かれました。

京都府では、このような体験会や魅力発信を行い、京都の林業担い手の確保の取組を進めています。

イベント概要

【日 時】 令和6年7月23日(火)～27日(土)

【場 所】 南丹市及び京丹波町

【参加者】 11名

【内 容】 林業大学校体験入校、
林業作業見学（高性能林業機械）、
林業作業体験（測量・伐倒・枝打ち・
玉切り・高性能林業機械操作等・架線集材）、
地域の魅力体験、木工体験、住民と林業大学校生との交流会、
施設見学等（間伐材を利用したキノコ生産施設・地元木材の
利用施設・林業種苗生産施設）



林業体験（伐倒作業）の様子



林業大学校 体験入校

参加者からの声

- 京都府立林業大学校への来年度以降の入学を前向きに検討したい。
- 林業はこれからもなくてはならない職業であると感じた。
- 林業現場での機械化が進んでいることを実感した。



地域の魅力体験（質美鍾乳洞）